

令和2年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立富田林高等学校 府立富田林中学校
校長名	高等学校長 栗山 悟 中学校長 大門 和喜

開催日時	令和3年2月19日(金) 15:00 ~ 17:00
開催場所	府立富田林中学校・高等学校 岸本記念館セミナールーム
出席者(委員)	津田会長、森田副会長(オンライン出席)、大谷副会長、金銅委員、易委員、光山委員
出席者(学校)	栗山高校校長、大門中学校長、市口高校教頭、岡本中学教頭、松井事務部長、他 事務局員
傍聴者	
協議資料	令和2年度学校教育自己診断結果(中学・高校) 令和2年度学校経営計画及び学校評価【案】(中学・高校) 令和3年度学校経営計画【案】(中学・高校) 富田林中学校の新聞掲載記事(大阪日日新聞:企業等との協働に基づく探究活動)
備考	

議題等(次第順)

報告

- ①学校教育自己診断に基づく学校関係者評価について【高校・中学】
- ②令和3年度学校経営計画について【高校・中学】
- ③制服検討に係る進捗状況について【中学】
- ④その他
 - ・全国コミュニティ・スクール研究大会発表について

協議

- ①報告に係る意見交流
- ②本協議会の振り返り

協議内容・承認事項等(意見の概要)

①報告に係る意見交流

- ◆学校関係者評価について
 - ・保護者からの指摘に対応が出来ていて、信頼構築につながっている。
 - ・保護者の負担する費用に関して誠実であることが、保護者からの信頼をさらに高める。
 - ・コロナをマイナスにとらえず、Zoomでの情報のリアルタイム配信など、プラスに変えている。
 - ・高校教員の「中学との情報共有・協働」の評価が極めて低い。中高一貫校の最大の課題である。
 - ・中高一貫校発足当初から、高校教員と管理職の温度差を感じていた。
 - ・ポストコロナを生き抜く生徒の視点に立った話し合いが必要である。(例えば「海外＝米国」からの脱却)
- ◆来年度学校経営について
 - ・パンフプロジェクトでカリキュラムマネジメントを推進し、学びを可視化するなら、結果の測定も必要である。
- ◆中学の制服検討に係る進捗状況について
 - ・制服制度変更のメリットだけでなく、デメリットも考慮すべきである。
 - ・年に数回しか着用義務のない制服を購入することには、保護者は抵抗があるだろう。
 - ・生徒の意見を十全に調査する必要がある。
 - ・今の中高の服装の状況を理由と共に説明しつつ、グローバルな視点を踏まえながら論じてほしい。

②本協議会の今年度の振り返り

- ・オンラインと対面を合わせたハイブリッド形式での協議会は良かった。

【承認事項】 令和3年度学校経営計画

次回の会議日程

日時	令和3年3月6日(土) 15:30～
会場	府立富田林中学校・高等学校 高校校長室